

# ふくしまの留学生と 国際交流 2009

International Students of Fukushima Prefecture and International Exchange

アカデミア・コンソーシアムふくしま

# ふくしまの留学生と国際交流 2009

International Students of Fukushima Prefecture and International Exchange



## CONTENTS

1

### 大学の国際化とは何だろうか

「アカデミア・コンソーシアムふくしま」企画運営委員長  
福島大学副学長 清水 修二

2

大学教育充実のための戦略的大学連携支援事業

「アカデミア・コンソーシアムふくしま」の構築による広域連携型学士力向上プログラム

5

### 各大学の取組

5 福島学院大学

「バリダンスレッスンとバリ島幼稚園交流」報告

6 東日本国際大学

留学生別科における日本語初習教育への取り組み

7 会津大学

国際交流への取り組み

8 福島大学

2009クイーンズランド大学短期語学研修報告

9

### 海外から日本への留学生 ~ From The Foreign Countries ~

9 留学生生活・経験

日本大学工学部機械工学科2年  
プラットローイ ノッパドン [タイ]

10 感謝の国 日本で学ぶ

東日本国際大学 留学生別科  
ネーアウン [ミャンマー]

11 苦有れば楽有りの留学生活

東日本国際大学  
王 思妤 [中国]

12 本当の美しさ

福島工業高等専門学校 電気工学科4年  
オイドブルジ・ガングヤグ [モンゴル]

13 日本の食事、ベトナムの食事

福島大学 経済経営学類  
グエン ゴ アントゥ [ベトナム]

14

### 日本から海外への留学 ~ From Japan ~

14 韓国の庶民ライフを味わおう

福島大学 人間発達文化学類文化探究専攻 4年  
宗片 友紀

15 アメリカ留学を通じて感じた事

日本大学大学院 工学研究科情報工学専攻M3  
田中 雄太郎

16

### 留学生 関連資料

16 外国人留学生の受け入れ状況  
出身国・地域別留学生数

17 地方別・都道府県別留学生数

福島県内高等教育機関における 外国人留学生の受け入れ状況

18 国・地域別外国人留学生数

19 私費留学生の奨学金別受給状況

留学生の寄宿状況

20 平成21年度 福島県内高等教育機関における

研究・教育交流協定締結校名

# 大学の国際化とは何だろうか

「アカデミア・コンソーシアムふくしま」企画運営委員長  
福島大学副学長 清水 修二



グローバリゼーションの波が世界を覆っています。モノもヒトもカネも情報も、国境を越えて縦横無尽に動き回る時代になりました。当然のことながら、大学もそうした変化の外に身を置くことはできません。「国際化」はすべての大学が直面しているテーマです。

そこで、大学が国際化するとは一体どういう意味なのか、じっくり考えてみる必要があります。

留学生がふえること、それが国際化的一面であるのは明らかです。日本の大学には現在12万人余りの外国人留学生があり、福島県内の大学でも460人を超えています。政府は、外国人留学生の数をさらに30万人にまでふやす計画を打ち出しています。一方、外国から受け入れる留学生ばかりでなく、海外へ留学する日本人学生もふえています。外国の大学と協定を結んで、交換留学の制度をもつ大学も少なくありません。

大学教育の内容も、国際化時代に対応したものになってきました。語学教育だけを言っているではありません。異文化理解を進めるための授業や、海外調査を織り込んだ演習や実習科目も導入されています。外国人の教員も数多く見られるようになりました。

大学の研究も国際化の色彩を濃くしつつあります。たとえば、環境にかかわる研究の対象はローカルなものからグローバルなものになっています。現代の政治や経済に関する研究の内容が国際化していることは言うまでもありません。外国の大学のスタッフと共同研究をするといったことも、普通のことになっています。

また「地域の国際化」にも、大学は関心を向けなければいけないでしょう。地域社会に外国人がふえ、民間のいろんな組織や団体が国際交流活動を展開しています。こうした人々と連携し、課題解決のための事業を行うのも大学の国際化の一つです。

「アカデミア・コンソーシアムふくしま」で取り組んでいる「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」は12の事業からなっていますが、「国際化プログラム」はその中の一つです。この冊子は福島県の留学生情報を中心にして、国際交流の現状を多くの方々に知っていただくために編集しました。「ふくしまの大学」のいっそうの国際化のために、役立てていただければ幸いです。

# 「アカデミア・コンソーシアムふくしま」の構築による 広域連携型学士力向上プログラム

## 構成大学

福島大学、会津大学、福島県立医科大学、いわき明星大学、奥羽大学、郡山女子大学、東日本国際大学、福島学院大学、日本大学工学部、放送大学福島学習センター、会津大学短期大学部、いわき短期大学、郡山女子大学短期大学部、桜の聖母短期大学、福島学院大学短期大学部、福島工業高等専門学校

福島県内所在の16の大学等すべてが、多領域の教育事業に共同で取り組むことにより、真の学力の引き上げ、福島県の教育水準の底上げを図ります。県土が広く大学等も地理的に分散する状況に対応し、各大学等の特徴に即して12のプログラム事業を展開します。

「豊かな地域性をもつ真の学力」が身に付く教育を共同で繰り広げ、有為な人材を地域に送り出すことを目指します。

## 国際化プログラムについて

### 1. 事業の目的

留学生30万人計画が提起され、外国人教員の増加も含め地域の国際化が進展しています。県内大学が国際化を共通の課題としてとらえ、共同で以下の取組を行います。

### 2. 事業内容

#### ①福島異文化弁論大会の開催

県内大学の留学生及び日本人学生が、福島県民の前で異文化に触れた体験を発表する弁論大会を開催します。異文化に対する相互理解、国際親善への寄与が期待され、また県内の留学生が一堂に会する機会を設けることで複数大学の学生同士が切磋琢磨しあえる機運を高め、県内留学生のネットワークおよび学習意欲の向上への動機付けとなります。

#### ②「ふくしまの留学生と国際交流」の編集・発行

福島県内の留学生に関するデータ、留学生支援の状況等を冊子として発行します。

#### ③短期語学研修の相互乗り入れ

県内各大学が実施する海外短期語学研修について、他大学の学生が参加できる制度を構築することにより、県内大学生の国際経験の機会を増やし国際性豊かな人材育成を目指します。各大学の個別の事情を調査し、仕組み作りのための協議・検討を関係機関(民間旅行会社等含む)と行います。

#### ④留学生・外国人教員のための日本語研修

留学生、研究者・教員及び配偶者等を対象に日本語研修を共同で実施することにより、コミュニケーション能力を高め、安全で自立した生活を確立し、日本文化の理解を深め積極的な地域社会への参加に繋げることを目指します。

また、日本の企業風土や文化的背景、ビジネスの場面に適した表現を習得するための機会を確保することにより、日本でのインターンや企業・各種機関への就職を目指す留学生を支援します。

事業名	事業別主務校	事業内容
1.初年次教育共同プログラム	福島大学	①初年次共通テキスト『福島で学ぶ』編集・発刊 ②高校教諭との合同討論会「学ぶ権利と真の学力」
2.「福島学」プログラム	福島県立医科大学	①「福島学」共通授業の開講 ②『福島学』共通テキストの編集・発刊
3.SD合同研修プログラム	福島大学	①階層別研修・目的別研修・専門研修の実施 ②短期・中期の人事交流
4.高大連携プログラム	福島大学	①高校生のゼミ体験コース、エリアキャンパス事業参加 ②大学と高校による保護者のための進学セミナー ③専門分野別進学ガイダンス
5.医療・福祉共同教育プログラム	いわき明星大学	①福祉系NPOインターンシップ ②学生による地域医療福祉調査プロジェクト ③福祉先進国学生視察団
6.エリアキャンパス・プログラム	福島大学	①エリアキャンパス・プログラム
7.「生きる力」養成プログラム	福島学院大学	①「起き上がり小法師」DVDドラマ制作 ②カウンセリング・プロセミナー
8.ものづくりプラントキャンパス・プログラム	日本工学校 福島工業高等専門学校	①工場訪問シリーズ ②ふくしま・ものづくりコンテストの開催
9.「ふくしま学びカード」プログラム	福島大学	①大学等施設の学生・市民開放
10.国際化プログラム	東日本国際大学 会津大学	①福島異文化弁論大会の開催 ②「ふくしまの留学生と国際交流」編集・発刊 ③短期語学研修の相互乗り入れ ④留学生・外国人教員等のための日本語研修
11.生涯学習プログラム	桜の聖母短期大学	①公開講座の共同開催、共同パンフレットの作成 ②職業別市民講座の開催 ③市町村議員講座
12.教員養成・研修高度化プログラム	福島大学	①教員養成における共同 ②免許状更新講習の協同実施 ③教員研修支援ネットワーク構築

期待される  
効果

福島県の高等教育の底上げ

高度人材育成による地域貢献

連携取組  
の  
内容

F 単位  
D 互換

教育の質保証プログラム

- 初年次教育共同プログラム
- 「福島学」プログラム
- SD合同研修プログラム
- 高大連携プログラム

地域共同の人材育成  
プログラム

医療・福祉共同教育  
プログラム

ものづくりプラント  
キャンパス・プログラム

エリアキャンパス・プログラム

「生きる力」養成プログラム

教育研究資源の結集

- 福島「学び」プログラム
- 国際化プログラム
- 生涯学習プログラム
- 教員養成・研修プログラム

地域連携  
ネットワーク  
推進

12の連携事業

アカデミア・コンソーシアムふくしま

現状・背景

低い進学率・高い人材流出率

少子化・財政逼迫による諸困難

## 知と地の響鳴ふくしま〈知と地のネットワーク〉

[地域との響鳴] 知的リソースの集積と活用、総合的な連携体制



### 地域のニーズ

- こんなことを知りたい
- 有識者の判断を仰ぎたい
- 地域のリーダーを養成したい
- 英語を勉強したい
- 学術図書を見たい
- 企業内研修を依頼したい
- 自治体職員研修をしたい
- .....



コンソーシアム



### 地域支援

- 人材育成(IT教育)
- 生涯学習支援
- 学校教育支援
- 共同研究・TLO
- 政策策定支援
- 地域経済戦略支援
- 産業創出支援
- 自治体への支援
- .....



# 各大学の取組

～The action of each university～

福島学院大学



## 「バリダンスレッスンとバリ島幼稚園交流」報告

期間／2009年8月18日(火)～8月26日(水) 参加者／保育科第一部1年生30名  
団長／佐藤敦子教授

本学の教育理念の一つである国際理解教育の一環として、福島学院大学保育科第一部では専門科目の中に「バリダンスレッスンとバリ島幼稚園交流」を開講している。選択科目であるために学生が自由に選択する科目である。保育科1・2年生を対象として開講しているが、2年生は保育実習I・IIを夏期休業期間に実施するために、現在は1年生を中心になり研修に参加している。

授業の目的はバリ島の幼稚園や村の子どもたちとの音楽やダンスを通しての交歓交流である。この他、現地でバリ島のダンスレッスンを受けたり、バリ島の異文化体験が目的である。バリ島の模擬結婚式や全員がバリの衣装を着て行う、ミスター＆ミズバリコンテストに参加する。本学保育科ではこれらを目的に1996年から実施されており、今年度で10回目である。

ではここで、2009年度に実施された内容をご紹介したい。今年度バリ島海外研修旅行の参加者は全員が保育科第一部1年生で、過去最多数の30名の参加だった。学生たちはこの研修に向けて、渡航手続以外に、様々な準備を行う。日本のダンス「ドラえもん」「アンパンマン」やよさこいの練習を出発直前の夏休みにも行う。この他バリ島の文化、宗教、生活等の事前指導に参加し、この海外研修に向けて準備を進める。今年度はさらに、新型インフルエンザ、鳥インフルエンザ等への徹底した事前指導を引率教員から受けた。

主な訪問先は、本学附属幼稚園と姉妹提携している州都デンパサールの「ハラパン幼稚園」、芸術村と呼ばれ、人々の暮らしは質素であるが、ダンスやガムラン樂器等ではインドネシアのコンクールでも入賞するほど有名であるウブドにあるタガス村、そして本学とは20年以上の親密な友好関係にある、タバナンのケランビタン幼稚園、宮殿である。

学生たちは現地バリ島において、一致団結し力を合わせて、バリ島幼稚園の子どもたち、村の子どもたちとの交歓交流を見事にやり遂げた。最初の訪問先「ハラパン幼稚園」では、幼稚園児のみならず小中学生からも熱い歓迎を受けた。バリ島の踊りはもちろんのこと、幼稚園の教員子どもたちによる日本語での「乾杯」も披露してくれた。2つ目の訪問先「タガ

ス村」では、多くの子どもたちや村人達の歓迎を受けた。ここで、ガムラン樂器やバリダンスの体験の他に、学生たちのアンケート調査から、最も印象的だったという、この村の子どもたちの笑顔と、バリに土着した迫力あるスケールの大きい伝統的な“ケチャダンス”を見ることが出来た。3つ目の訪問先「ケランビタン幼稚園」では鼓笛隊による出迎えがあった。次に本研修旅行のメインである「ケランビタン宮殿」に移動し、学生たちのパフォーマンスの後、本格的なバリの結婚式を再現した“模擬結婚式”や、バリ島の衣装を身に纏う“ミスター&ミズバリコンテスト”に学生全員が参加した。村中あげての結婚式の再現は、学生たちを一瞬異次元の空間にいるような幻想的で魅惑の世界へと導いてくれた。この他、学生たちは“クッキングスクール”や“バリダンスレッスン”、ホテルでのケチャダンス、イタリアンブッフェ、世界の料理、バリニーズファッショショード等、盛りだくさんのイベントを体験した。次に、王制制度が最後まで残ったという「カラングサム宮殿」も訪問することができた。学生たちはバリでのこれら数々の体験を満喫し、またバリ島を訪れたいという思いを胸に日本へ帰国した。

今回は1年生だけでの参加だったが、本研修を成功させられること、バリ島の訪問先全ての人々の本学「バリ島研修旅行」への全面的な協力と心遣いを感じ取ることが出来た。旅行後の学生たちへのアンケート調査から、本研修は、異文化体験、真の国際交流の大きな意義を感じ取り、また今後保育者として歩もうとする学生たちに大きな影響を与えていたことが分かった。



# 各大学の取組

～The action of each university～

東日本国際大学



## 留学生別科における 日本語初習教育への取り組み

現在、中国、ミャンマー、韓国、ネパール、モンゴルなどアジア圏から来日した百数十名の留学生がいわき市の本学キャンパスに集い、日本語ならびに経済学、福祉学の専門の勉学に勤しんでいる。本学の国際交流への取り組みは、留学生の生活サポート、地域活動への参加、海外姉妹校提携校との学術交流など多面にわたるが、今回は、日本語の初習教育を体系的に実施している留学生別科の取り組みについて紹介してみたい。

留学生別科は1年制の大学学部予備教育機関で、留学生に対して大学での修学に足る日本語能力を涵養していくことを目標にしている。クラスは語学の習得を効果的にするため、全クラス十数名程度の少人数で編成し、日本語の習熟度によって、初級・中級・上級の三レベル七クラスに分けて教育を行っている。開講科目は、日本語を総合的に学ぶ日本語演習を核に、語彙読解・表記漢字・文型文法・聴解・生活日本語・作文・プレゼンテーションと日本語の学習テーマごとの科目も設けている。

近年、漢字文化圏以外の学生が増えたことから、表記漢字の講義は、学生が属するクラスと関係なく、漢字圏クラス（上級・中級・初級）、非漢字圏クラス（中級・初級）を設け、学生各自のニーズに合わせた選択ができるようにした。毎朝始業時には漢字の小テストを実施し、一年間で2000字を覚えられるようなプログラムも設けている。また、日本語能力試験対策も重視しており、特に留学生が苦手とする、文型文法・語彙読解も、所属クラスとは別に、この分野における習熟度別に学生を振り分けて効率的に指導を実施している。模擬試験も定期的に実施をし、学生に学習の到達度確認と次の目標設定を促し、2級・1級レベルをめざす学習プランを推進している。

本学の留学生教育で成果を上げているのが、作文とプレゼンテーションである。大学の講義では、リポート

を作成したり、研究発表をするため、日本語表現力を養うことは留学生別科教育で必要不可欠な要素である。毎週の作文で、日本語で自分の意見をまとめる訓練をし、出来上がった作品をその週のプレゼンテーションの授業で発表するという方法で進めている。本学留学生は、福島県留学生弁論大会、地域での異文化交流、小学校訪問授業など、プレゼンテーションを実演する場面が多く、この授業での訓練が役立ち、特に福島県弁論大会では毎年入賞できる実力と自信をつけてきた。

各クラスには専属の担任を置き、留学生の精神的なケア、修学上の問題などにいつでも相談できる体制も整えている。福島県唯一の日本語初習教育機関として、今後も新たな取り組みを展開していきたい。

### 東日本国際大学



# 各大学の取組

~ The action of each university ~

会津大学



## 国際交流への取り組み

〈会津大学 国際戦略本部〉

会津大学は開学以来、世界レベルのコンピュータ教育と研究の実現のために、国際的な教授陣と先進的なコンピュータ環境という、日本では類を見ない大学環境を実現してきた。その結果、本学の全教員の約4割は外国人教員であり、日本語と英語両方を学内公用語とし、通訳翻訳員や外国人教員向けの相談員が常駐している。また、大学院では英語のみでの学位取得が可能である。これに加えて、平成17年に採択された文部科学省「大学国際戦略本部強化事業」により、国際戦略本部が学内に設置され、「日常的国際化」のさらなる拡大・強化をはかってきた。国際戦略本部の主な取組みとしては、海外の大学との交流や連携についての協定締結、留学生の受入れ、海外の大学への学生派遣、国際学術会議やワークショップ開催の支援、留学生と地域の交流事業の支援などが挙げられる。

会津大学の外国人留学生数(平成21年1月現在

の外国人留学生数68名)は増加傾向にあり、彼らが日本の生活環境に適応できるよう、留学生オリエンテーション、日本語教室の開催、生活支援を行ってきた。同時に、留学生も自国の文化習慣や料理を紹介したり、留学生向けの生活日本語や茶道の教室に参加するなど、地域の有志の方々の協力を得ながら交流を深める活動を行っている。

会津大学では、留学生の受け入れ支援だけではなく、日本人学生の海外研修や留学への派遣にも力を入れている。その一環として、「海外の技術系大学の生活を知る」と題した留学フェアで、協定校のローズハルマン工科大学(アメリカ)での短期研修を経験した先輩や同大学から留学中の学生が、米国大学生の寮生活や課外活動、自由時間の過ごし方などを紹介した。参加学生には同じ技術系で学ぶ海外の学生がどのような大学生活を送っているのかを知る機会となった。



▲会津地域の方々からのお米の贈呈

会津若松市の生産者から会津サクラランカ会、會津となり組(会津国際文化交流市民協議会)を通じて会津大学の外国人留学生へお米が贈呈された。



▲海外研修・国際交流イベント

「海外の技術系大学の生活を知る  
～ローズハルマン工科大学の場合～」

海外派遣学生の発表では、授業風景の動画や研修先で購入した分厚いテキストも披露され、参加学生たちにとっては米国の大學生の様子を知る貴重な機会となった。

# 各大学の取組

～The action of each university～

福島大学



## 2009 クイーンズランド大学 短期語学研修報告

引率教員／鈴木裕美子(人間発達文化学類)

8月29日から9月19日までの3週間、オーストラリア第三の都市ブリスベンにあるクイーンズランド大学(UQ)に15名の学生が短期語学研修で留学しました。新型インフルエンザの世界的流行で、ぎりぎりまで検討された結果の決行でした。授業は基本的に一日90分3コマでUQの英語担当教員2名が交代で担当。自己紹介、ホームステイ先での過ごし方、日記、デート、ショッピング、オージー英語、アボリジニの伝説、スポーツ、映画、歌、健康、アクティビティに出かける直前は訪問先についてなど、興味深いテーマで進められました。UQの学生との交流もあり、話題に事欠かないようあらかじめ日本の昔話のシナリオを作成しました。

初日に、「明日は授業中日本語を言わないように」と注意されましたが、2週間後には、「黙っている人や下に向いている人がいない」と、ほめられました。週に1度はアクティビティがありました。シーワールド、ローンパイン、マウンテンレイクス、サンシャインコーストなど、オースト

ラリアの自然を満喫しました。特に、乗馬体験は好評でした。週末はゴールドコーストやモートン島に行ったりリバーフェスティバルに参加したりで、ホテルの予約、アクセスなど自分たちで手配できるまでになりました。大学まで30分から1時間くらいの家庭にホームステイしたことでも語学力を上げる体験となりました。あっというまに3週間でした。治安のよいところであれば、何とか生活できる自信がついたようです。

新型インフルエンザの心配はありましたが、それでも行きたい学生が15名集まったこと、事故や病気、事件などのトラブルがなかったこと、行政政策学類の荒木田岳先生が在外研修中であったこと、交換留学生だったケント君や来年度の交換留学生と交流できること、天候がよかったですなど、いくつもの幸運に恵まれ、大きな成果をあげることができました。この貴重な体験を多くの学生が共有できるとよいと思います。



# 海外から 日本への留学生

～From The Foreign Countries～



## 留学生活・経験

日本大学工学部機械工学科2年  
プラワットローイ ノッパドン [タイ]

私は、タイ政府国費留学生として三年前に来日しました。まず、東京で日本語学校に一年半通いました。日本語の勉強はかなり難しかったのですが、日本の大学に進学するために懸命に頑張りました。日本語学校では語学に加えて日本の文化についていろいろと学び、たくさんの外国人の友達もできました。卒業後、私は、福島県郡山市にある日本大学工学部機械工学科へと進学しました。

大学生活が始まると、初めて日本人の友達ができました。思っていた通り皆優しく、すぐに親しくなりました。日本大学では全国各地から、知識や技術を高めようとする人たちが集まっており、自分自身も得られるものが多いと感じています。ただ、最初はまだ慣れないせいか授業で使われる言葉や専門用語がよく理解できず大変でした。学生生活においても戸惑うことがしばしばありました。しかし、現在二年生となり、多くの友人がいることもあり、語学力も十分身についてきたと胸をはって言うことができます。勉学についても努力した甲斐が

あり、大学から特待生に選ばれてとても光栄に思っています。また、学業だけでなく、いろいろな経験をしようと思い、部活動は吹奏楽部に入りました。とても楽しく、充実しており、この部活動を通して先輩・後輩関係ができました。もちろん困ったときには先輩方が相談に乗ってくれます。日本に来て、そしてこの大学に進学して本当によかったと感じています。

日本は機械工学を始め、工業技術において世界のトップレベルであり、今も急速な発展を続けています。自分の将来を考えると、新しい科学技術に適応し、身に付けていくためにはもっと専門的な知識と能力を高めなければならないと考えています。私にとって、日本あるいは日本大学とは将来のために自分を鍛えるところであり、仕事に必要な知識を吸収し、自分の人間性を磨いて行くところになっています。生活に関しては経済的に余裕のある状況とはいえませんが、ここでの四年間の体験が後々の人生に必ずプラスになると私は信じています。





## 感謝の国 日本で学ぶ

東日本国際大学 留学生別科  
ネーアウン [ミャンマー]

日本の建築技術は世界でもトップレベルです。建物の構造も細かい部分にまで非常に丁寧に設計してあり、ほとんどの地震でもめったに倒れません。小さい頃から将来インテリアデザイナーになりたいという夢を持っていた私は、どこの国に行って勉強すればいいか迷っていました。

高校2年のある日、台湾から留学して戻ってきたばかりの姉に「建築なら日本が1番いいよ」と勧められてから、私は新聞やテレビなどで日本についての色々な情報を集めました。その結果、日本への留学を決心し、三ヶ月前ついにそれが実現しました。

日本に来て一番驚いた事は、礼節や時間を非常に重視している日本人の国民性です。日本に来る前に見た「ごくせん」という日本のテレビドラマの中で、気が強い先生がいろいろな場面で礼節の重要性を表現して見せましたが、当時はそれはただ役者が演じているだけであり、現実にはあり得ないと思っていました。

ところが、日本で生活を始めるとさまざまな場面で、非常に礼儀正しく、また時間を重んじる勤勉な日本人の国民性が感じ取れ、感動しました。私の国ミャンマーの礼節は日本ほど厳しくないです。

例えば、誰かに手伝ってもらった時、ミャンマーでは、自分がどんなに感謝の気持ちがあっても、お礼は1回しか言いません。もし何度も感謝の言葉を並べると、それは建前を言っていると思われてしまうのです。しかし、日本では自分が持っている感謝の気持ちをできるだけたくさん丁寧に表現します。もし、そうしなければ失礼になってしまうようです。

このような日本の文化や習慣を学ぶことは、私のこれ

からの課題です。それらを理解することは、日本での人間関係を円滑にすることにも役に立つと思います。

私は、これから日本の文化や習慣を学びながら、将来の夢を実現させるため一生懸命頑張りたいと思います。





## 苦有れば楽有りの留学生活

東日本国際大学

王 思妤 [中国]

「留学生活はどうですか」とは、留学生ならよく聞かれる質問だ。全然躊躇わず「楽しいです」と答える仲間とは裏腹に、私はいつも一瞬の迷いがあった。つらい経験が結構あり、なんとなく疲れた気分でいるからである。日本に来た最初の一週間、ずっと空腹だった。我慢できず部屋を出てスーパーを見つけた経験は、今でも忘れられない。

私にとって、二年間の留学生活では、困難なことが二つあった。それは言葉と日本社会に慣れることであった。

はじめのアルバイト先はコンビニだった。当時あまり日本語を話せなかったので、コンビニのバイトは難しいと感じた。助けてあげようと思うと相手に断られてしまうし、バイト仲間に話をかけても無視されてしまった。自分の世界と日本人の世界との違いがわかり、日本社会は微妙だと思ってしまった。ある日、友だちに「日本人の日本語は上手だから、羨ましいな」と言ったら、「何を言ってんの?君の中国語だって上手だよ」と笑われた。(笑)

だが、苦有れば楽有り。きつい留学生活から実感したのは「苦は樂のたねだ」という諺の意味だ。コンビニ

に入ったばかりの時、二時間つきっきりで、オーナーと店長がレジで使う言葉を教えてくれた。最初、全然できなかつたのに、二人の目に「きっと大丈夫だ」という温かいまなざしがあり、私は生まれて初めての幸福感を覚え、今でも感動している。

私はさびしがり屋なので、みんなと普通に喋るように日本語を勉強しようと決意して、頑張ってきた。そのため、今ぐらいの日本語が話せるようになったのだろう。

今、みんなはいつも心配してくれたり、トラブルがあれば助けてくれたり、知らないことを教えてくれたり、全てざわざわことだけれど、ここにじみ出る温かい人間性は留学する前にはなかった感覚だ。

自分の力でスーパーを見つけて人間の潜在能力に感動したこと、日本人らしい日本語をマスターしようと一生懸命勉強していたことも、今では非常に貴重な人生経験になっている。これこそが留学生活の一番楽しいことだと思う。こんな訳で、今度もし同じ質問をされれば、私は「留学生活に疲れましたけれど、辛さの後ろにSurpriseがあるので、楽しいですよ」と答えたい。



# 海外から 日本への留学生

～From The Foreign Countries～



## 本当の美しさ

福島工業高等専門学校 電気工学科4年

オイドブルジ・ガングヤグ [モンゴル]

私は明るくて社交的な性格で、初対面の人ともすぐ親しくなって会話を楽しむことができますが、日本に留学したばかりの頃は友達がいなかったので、大変でした。でも、バトミントン部に入って活動しているうちにたくさん友達ができました。いくら数学の計算ができる、成績がよくても、仲間がいなければ有意義な学生生活はできません。お互いに助け合って、周りの人の力で強くなって前進して行けるのです。

日本に来てからいろいろなチャンスに恵まれ、可能性が広がりました。そのひとつに陶芸教室があります。陶芸は初めての経験でしたが、ろくろで形を作るときは手に力を入れるのではなく、心で形を作ることが大事だということがわかりました。「指と心で同時に感じるものだ」という陶芸の先生の教え方がとても印象的でした。始める前は大きな皿を作るのは簡単だと思っていたが、実際にやってみると予想した以上にむずかしくて、皿を大きく広げようとすると、土が柔らかいから端の方が下にたれてくる危険があり、きれいな形ができません。

また、花瓶を作るときに「花瓶の美しさは外側だけではなく、内側もきれいでなければ本当の美しさではない。

人間も同じ」という先生の言葉を今でも覚えています。よく考えてみると、先生の言った通りです。出来上がった後では花瓶の内側は見えないし、良い人の心の中も外からは見えません。でも、美しいものは内側から自然に光り出すと思います。陶芸は土で形を作ったり、削ったり、絵付けをしたり、むずかしいことが多くて努力が必要でした。何度も失敗しましたが、そのたびに先生が直してくれました。

自分で皿や花瓶を作る陶芸を経験するのはめったにないことで、とても楽しい作業でした。一時帰国するときに花瓶を持って帰るつもりでいますが、これを見せたら、家族はびっくりすると思います。私が作ったものだと言っても信じないかもしれません。これからも新しいことに挑戦して、いろいろな人達との出会いを大切にしたいと思っています。





# 日本の食事、ベトナムの食事

福島大学 経済経営学類

グエン ゴ アントウ [ベトナム]

日本と私の母国ベトナムは同じアジアの国、同じお米が主食の国ですが、食習慣に違いがあります。

まず、朝ごはんです。ベトナムは、朝5時ぐらいから多くの店が営業をしていますので、外食が多いです。フォーという米の麺は朝ごはんとして一番人気があります。ですからたまに、ベトナムの朝ごはんが懐かしくて、朝からラーメンを食べたくなるときがあります。けれども朝から開いているラーメン屋はなく、学校の食堂でさえも、11時からでないとラーメンが出ません。

では、なぜこのような朝ごはんの習慣があるのでしょうか。それは日本よりベトナムのほうが、日の出が早いからです。そのために学校や会社の始まる時間も日の出に合わせて早くなっています。ベトナムの学校は6時45分からはじめます。子供たちは平均6時ぐらいに起きて、歯磨きや着替えをして、すぐ家族と一緒に店へ行って、朝ごはんを食べてから学校に行きます。もし家で食べるとしても、シンプルなチャーハンか、店から買ったものになります。

またベトナムの学校では給食が出ません。授業は午前中か午後だけですので、家で食べるのです。家で食べない学生や社会人は外食をします。朝ごはんと同様に、昼ごはんを提供する店が多くあるからです。それに元々、弁当を持っていく習慣がないベトナム人にとっては、その方が安くて便利です。

日本とベトナムの食習慣を比べて、私は、どちらが健康的か、良い習慣かと判断するつもりはありません。身近な食事の作法だけでもこんなに違います。違うからこそ、日本のこともっと理解したい、そしてベトナムのことももっと理解してほしいのです。世の中がグローバル化していくことで、留学生の私だけでなく、皆さんにも異文化と触れあうチャンスが増えていくこと思います。食事は文化・社会を映す鏡です。異文化理解のために、お互いの立場から理解することが何よりも大切なことだと思います。



# 日本から 海外への留学

～ From Japan ～



## 韓国の庶民ライフを味わおう

福島大学 人間発達文化学類文化探究専攻 4年

宗片 友紀

1年間の留学生活を通して、韓国の魅力は「人」と「食文化」だと感じた。そこで今回は、韓国旅行でその魅力を感じられるオススメの過ごし方を紹介する。それは名付けて「韓国の庶民ライフを味わおうツアー」である。

まず、朝食は街の食堂で食べよう。ソウルは街のあちこちに食堂があり、安くお腹いっぱい食べられる。ここで必ず食べてほしいのが「キンパプ」という太巻である。韓国では日本のおにぎりのように安く手軽な食べ物で、ツナやキムチなど具が数種類あり、ゴマ油の風味がとてもおいしい。注文すると、店のおばさんが素早く作ってキンパプ丸々1本を持ってきてくれる。キンパプを作る手さばきは必見である。気軽に「どこから来たの?」と話しかけてくれる店のおばさんもいる。韓国の味を堪能して店を出るときは、おばさんに笑顔で「チャルモゴッソヨ~!(ごちそうさまでした)」と言って店を出よう。

そして今度は、ソウルの街を散策しよう。ソウルは観光スポットがまとまっているので、歴史的なものから話題のスポットなど、いろいろな所を見て回ることができる。キョンボックンなどの文化遺産の建造物は、鮮やかな色合いと韓国伝統の造りで日本との違いや歴史を知ることができる。伝統的な街並みを残している所もあり、昔にタイムスリップしたような体験ができる。一方、若者の集まる街に行けば、最新の韓国事情も見ることができる。そこでは、人の多さ以上に服やアクセサリーの店と品物の多さに驚くかもしれない。

観光スポット巡りをしながら、困ったことがあったら周りの人々に声をかけてみよう。親切に教えてくれる人が多く、人と人の近さを感じられる。また、街を歩きながら人間ウォッチングも楽しい。韓国では、友人同士でも腕を組んだり手をつないだりしながら歩く。さらに恋人同士は情熱的で、男性が彼女のかばんを持つという暗黙の了解や、ペアルックなど恋愛事情も見ることができる。そんな日本とは違う韓国らしい人々の様子は、実際に行かなければ知ることができない文化である。そして、もう一つのお楽しみは、街にある屋台の食べ物である。韓国独特的の食文化がそこには溢れている。おでんや辛いトッポッギから甘いワッフルやホットクまであるので、歩き回ってお腹がすいたら、いろいろな味を試してみるといい。でも、食べすぎにご注意を。

「チンチルバン」という健康ランドにも、ぜひ行ってほしい。まさに韓国人の憩いの場で、そこには大浴場風呂、サウナ、大休憩場、食堂、パソコンコーナー、マンガ本貸し出し、睡眠室と何でも揃っており、700円程度でのんびり快適に過ごせる。韓

国の庶民的な文化を全身で感じられる場所である。専用のTシャツと短パンを受けとて着替えれば、あとはお風呂でアカスリをするなり、大休憩場でごろごろしながらみんなでおしゃべりをするなり、サウナで汗を流してダイエットするなり、ご自由に。韓国的人は、家族で来てわいわい話したり、きゅうりパックをして寝転んでいたりするが、大きなびきをかいて寝ているおじさんや仲良しカップルもいる。そういう所から文化に飛び込んでいくことで、自文化との違いに戸惑いながらも、新たな発見や楽しみがどんどん増えていくのではないかだろうか。

では最後に、ぜひ買ってほしいお土産を紹介する。キムチやノリはもちろんだが、「靴下」も意外に喜ばれる。靴下といつても、普通のものではなく「キャラ靴下」で、日本でおなじみのキャラクターから韓国で話題の人の顔やハングル文字など種類は豊富にあり、1足100円と安い。これが丈夫でかわいい。

韓国は辛い食べ物やドラマのイメージがある。しかし、実際にに行って食べて見て感じて、人ととの近さや文化の深さを知ると、ますます夢中になれる国である。その一歩として「韓国の庶民ライフを味わおうツアー」はいかがだろうか?



# 日本から 海外への留学

～ From Japan ～



## アメリカ留学を通じて感じた事

日本大学大学院 工学研究科情報工学専攻M3

田中 雄太郎

学部生の頃からアメリカの大学に留学したいと思っていました。念願かなって日本大学大学院海外派遣奨学生に採択され、大学院2年の時にコロラド大学ボルダー校に留学する事ができました。

私が住んでいたボルダー市は雄大なロッキー山脈の麓に位置し、美しい自然に囲まれた町です。デンバー市及びロッキー国立公園から車で約1時間の所に位置しています。ボルダー市にはコロラド州立のコロラド大学ボルダー校があり、宇宙に一番近い大学であると言われています。この理由は標高が約1600mと高く宇宙に近い事、宇宙飛行士になった卒業生が多い事からこのように言われています。

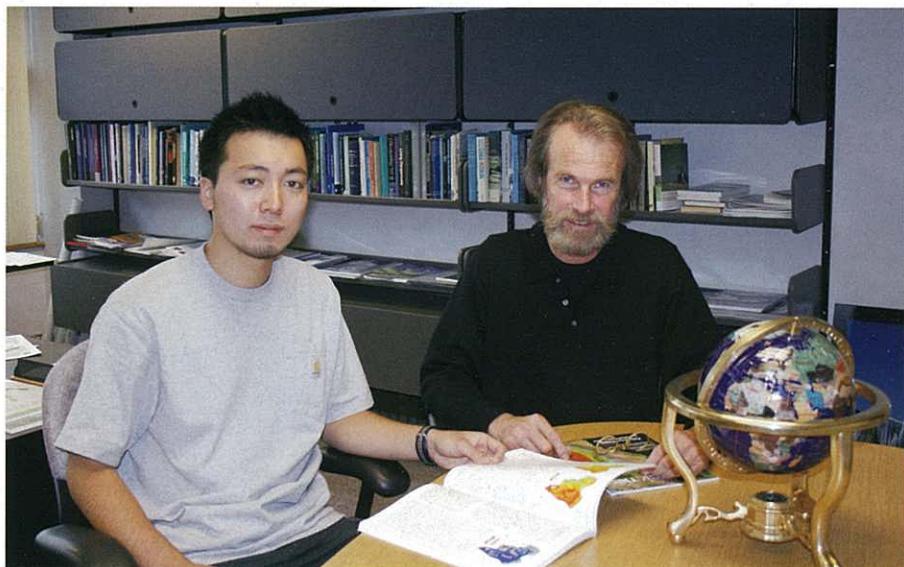
コロラド大学ではCIRESという研究室に所属し、極地の研究、またそれに関する授業を履修してきました。所属していた研究室には私を含め5人の博士課程の学生が所属し上は40代から下は24歳と幅広い年代の学生達があり、彼らとは良い関係が築けました。アメリカで生活を始めて1ヶ月間はなかなか英語になれず話

す事ができませんでしたが、身振り手振りでなんとか生きる事ができました。

丁度1ヶ月過ぎた頃からようやく少しずつ話す事ができるようになり、今ではある程度の会話はできるようになりました。アメリカの大学で勉強をして一番印象に残っている事は、学生が学ぶ事に貪欲であった事です。彼らは授業中に解らない事や疑問に思った事を質問し、その場で解決しようとします。

また授業はもちろん、それに関する知識を吸収しようとする姿勢に「見習わなければ行けないな」と感じました。今回の留学で私はとても良い経験ができたと思っています。違う国で言葉も解らず、全てが初めてのことばかりでした。それでも1つ1つ乗り越える事ができ、成し遂げる事ができた事にとても誇りを感じています。

また海外で生活する事により、日本に住んでいた頃には無かった視点で物事を見る事ができるようになりました。皆さんも海外に行ってみてはどうでしょうか？

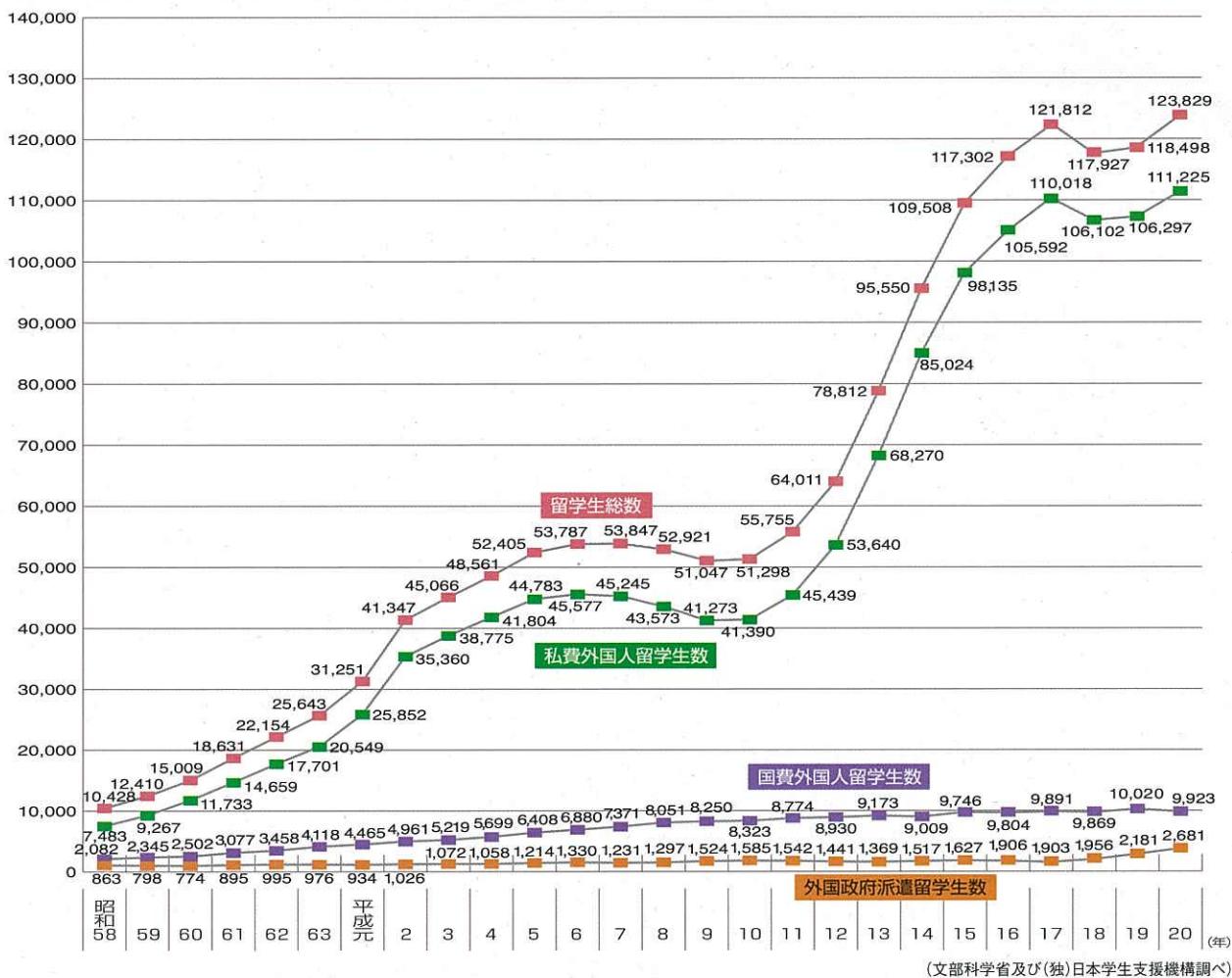


# 外国人留学生の受け入れ状況

我が国の大学等で学ぶ留学生は、平成20年5月1日現在123,829人で、平成19年に比べ5,331人(4.5%)増加した。これを出身地域別に見ると、我が国の地理的、文化的状況もあり、アジア地域からの留学生が全体の約9割を占めている。

また、我が国の日本語教育機関で学ぶ学生は、平成20年7月1日現在34,937人で、平成19年に比べ3,274人(10.3%)増加した。出身地域では、中国、韓国及び台湾からの学生が全体の約8割以上を占めている。

## 留学生数の推移 大学・専門学校等の在籍者数(各年5月1日現在)



## 出身国・地域別 留学生数

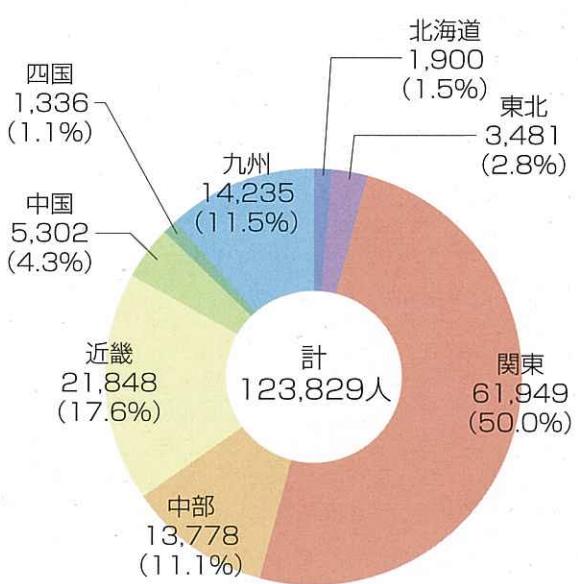
※大学・専門学校等の在籍者に限る  
(平成20年5月1日現在)  
( )は国費外国人留学生数で内数

国・地域名	留学生数(人)	構成比(%)
中國	72,766 (1,794)	58.8
韓國	18,862 (930)	15.2
台灣	5,082 (0)	4.1
ベトナム	2,873 (574)	2.3
マレーシア	2,271 (238)	1.8
タイ	2,203 (564)	1.8
アメリカ合衆国	2,024 (127)	1.6
インドネシア	1,791 (690)	1.4
バングラデシュ	1,686 (466)	1.4
ネパール	1,476 (123)	1.2
その他	12,795 (4,417)	10.3
計	123,829 (9,923)	100.0

# 地方別・都道府県別留学生数

※大学・専門学校等の在籍者に限る(平成20年5月1日現在)

北海道	1,900
青森	523
岩手	396
宮城	1,814
秋田	227
山形	212
福島	309
茨城	2,320
栃木	1,071
群馬	1,172
埼玉	5,444
千葉	5,566
東京	42,371
神奈川	4,005
新潟	1,197
富山	585
石川	1,421
福井	329
山梨	692
長野	570
岐阜	1,373
静岡	1,480
愛知	6,131



注) 他府県にまたがる大学等の留学生については、本部の所在する都道府県に計上した。

三重	793
滋賀	371
京都	4,994
大阪	10,289
兵庫	4,017
奈良	1,102
和歌山	282
鳥取	186
島根	213
岡山	1,982
広島	2,091
山口	830
徳島	361
香川	349
愛媛	475
高知	151
福岡	6,613
佐賀	398
長崎	1,418
熊本	743
大分	3,965
宮崎	122
鹿児島	434
沖縄	542

## 福島県内高等教育機関における 外国人留学生の受け入れ状況

### 国費・私費別外国人留学生数

(平成20年10月1日現在)

留学生の所属大学区分	福島県立医科大学	会津大学	会津大学短期大学部	奥羽大学	日本工学院	日本工学部	郡山女子大学	郡山女子大学短期大学部	いわき明星大学	東日本国際大学	いわき短期大学	福島学院大学	福島学院大学短期大学部	桜の聖母短期大学	福島工業高等専門学校	福島大学	計	%	
	国費	1	12													5	3	21	6.0
政府派遣						4										9		13	3.7
県費	1	1			1												3		0.8
私費	4	36			6	2		2	130							134	314		89.5
計	6	49	0	0	11	2	0	2	130	0	0	0	0	0	14	137	351		100.0

(平成21年10月1日現在)

留学生の所属大学区分	福島県立医科大学	会津大学	会津大学短期大学部	奥羽大学	日本工学院	日本工学部	郡山女子大学	郡山女子大学短期大学部	いわき明星大学	東日本国際大学	いわき短期大学	福島学院大学	福島学院大学短期大学部	桜の聖母短期大学	福島工業高等専門学校	福島大学	計	%	
	国費	1	25			2										4	4	36	7.8
政府派遣						4										9		13	28
県費					1									1			2		0.4
私費	3	43			6	2		4	199							157	414		89.0
計	4	68	0	0	13	2	0	4	199	0	1	0	0	13	161	465		100.0	

※留学生受け入れがない大学は、計上しておりません。

## 国・地域別外国人留学生数

(平成21年10月1日現在)

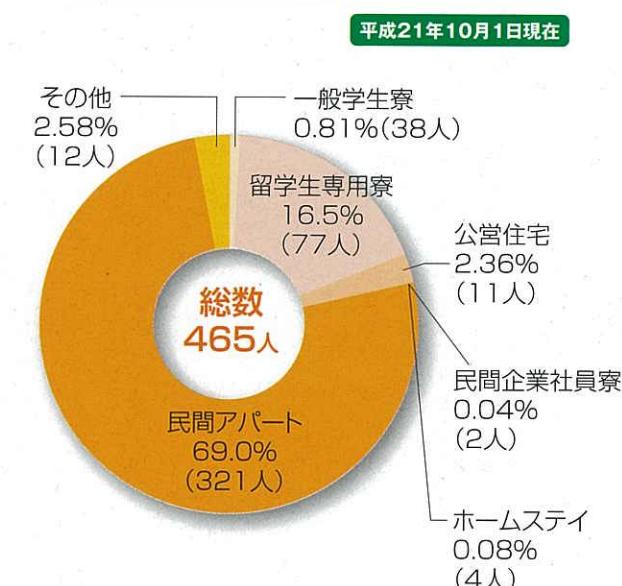
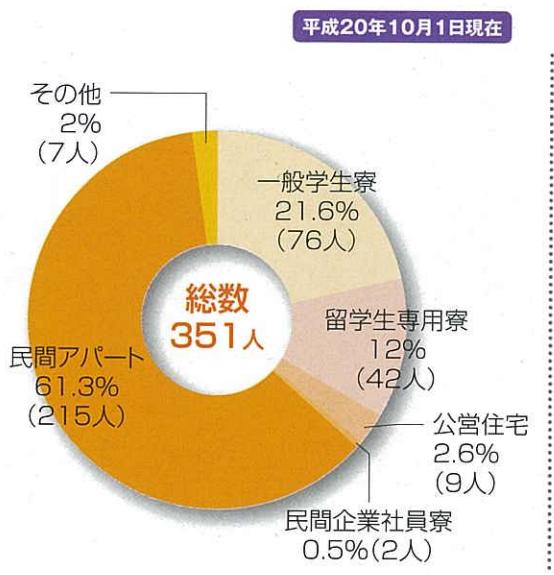
所属大学等 地域・国別		医福 科島 大県 学立	会津 大學	工日 本 学 部学	大郡 山 女 学 子	大い わき 明 学 星	大東 日本 国 際	大福 島 學 院	專福 島 門 工 業 高 校 等	福 島 大 學	計	地 域 別 割 合
ア ジ ア	中 国	3	37	3	1	4	118			127	293	96.8%
	台 湾		3				1				4	
	韓 国		5				13			16	34	
	英國(香港)									1	1	
	ネ パ ー ル						8				8	
	モ ン ゴ ル			2			6		1	5	14	
	マ レ ー シ ア			1					9	1	11	
	イン ド ネ シ ア								1		1	
	ミ ャ ン マ ー						50				50	
	ベ ト ナ ム		5				1		1	9	16	
	ラ オ ス								1		1	
	タ イ			4							4	
	フィ リ ピ ン									1	1	
	スリ ラン カ		7								7	
	イ ン ド		4								4	
	バ ン グ ラ デ シ ュ		1								1	
計		3	62	10	1	4	197	0	13	160	450	
中 南 米	ブ ラ ジ ル							1	1		2	1.5%
	ペ ル ー			2						1	3	
	アルゼンチン											
	コロ ン ビ ア		1								1	
	エルサルバドル		1								1	
	計	0	2	2	0	0	1	1	0	1	7	
ヨ ー ロ ッ パ	ハン ガ リ ー		1								1	0.9%
	ブル ガ リ ア		1								1	
	ウズベキスタン				1						1	
	ロ シ ア		1								1	
	計	0	3	0	1	0	0	0	0	0	4	
ア フ リ カ	ナイ ジ エ リ ア						1				1	0.9%
	ル ワン ダ			1							1	
	コン ゴ 民 主 共 和 国	1									1	
	タン ザ ニ ア		1								1	
	計	1	1	1	0	0	1	0	0	0	4	
合 計		4	68	13	2	4	199	1	13	161	465	100%

# 私費留学生の奨学金別受給状況

奨学金名称	国・地域	人数	機関名
私費外国人留学生学習奨励費	大学院	1	福島県立医科大学
	大学院	9	会津大学
	大学院	9	福島大学
	計	19	
	学部	1	日本大学工学部
	別科	29	東日本国際大学
	学部	29	福島大学
	計	59	
(財)ロータリー米山記念奨学金	大学院	1	日本大学工学部
	大学院	4	会津大学
	大学院	6	福島大学
	計	11	
	学部	1	日本大学工学部
	学部	3	東日本国際大学
	学部	2	福島大学
	計	6	
	大学院	1	福島大学
	学部	5	福島大学
ふくしま友好外交官	大学院	1	福島大学
	学部	5	福島大学

奨学金名称	国・地域	人数	機関名
彌満和奨学金	大学院	0	
	学部	4	福島大学
(財)平和中島財団外国人留学生奨学金	大学院	0	
	学部	1	東日本国際大学
(財)実吉奨学金	学部	1	日本大学工学部
安田奨学金	学部	2	福島大学
サトー国際奨学金	大学院	0	
	学部	1	福島大学
マブチ国際育英財団	学部	3	福島大学
佐川留学生奨学金	学部	1	福島大学
ドコモ留学生奨学金		0	
日本大学工学部第三種奨学金		1	日本大学工学部
会津大学留学生後援会		4	会津大学
会津大学奨学金研究留学生		2	会津大学
デュアルディグリープログラム奨学金		7	会津大学
短期留学推進制度による奨学金		2	福島大学
日韓大学生交流事業		1	福島大学
総計		131	

## 留学生の寄宿状況



平成21年度 福島県内高等教育機関における研究・教育交流協定締結校名 (平成21年4月1日～10月1日)

大学名	交流協定締結校	国名	所在地	学術交流 協定締結	学生交流 協定締結	留学生 受け入れ数	学生 派遣数	地域
会津大学	インド工科大学デリー	インド	ニューデリー	○	○			1
	コンジュ国立大学	韓国	忠清南道公州市	○	○			1
	ソウル市立大学	韓国	ソウル市	○	○	1		1
	ハリム大学	韓国	江原道春川市	○	○	9		1
浦項工科大学	韓国	慶尚北道浦項市	○	○	1		1	
世宗大学	韓国	ソウル市	○	○			1	
延世大学	韓国	ソウル市	○	○			1	
蔚山国大	韓国	釜山広域市	○	○			1	
高麗大學	韓国	ソウル特別市	○	○			1	
忠北大学	韓国	忠清北道清州市	○	○	1		1	
淡江大学	台湾	台北県	○	○			1	
朝阳科技大学	台湾	台中県霧峰郷	○	○	12		1	
ハルビン工業大学	中国	黒竜江省ハルビン市	○	○	8		1	
華中科技大学	中国	河北省武漢市	○	○	3	3	1	
上海交通大学	中国	上海市	○	○			1	
上海交通大学	中国	上海市	○	○	4	3	1	
中国科学院近代物理研究所	中国	甘肃省蘭州市	○	○			1	
南京农业大学	中国	南京市	○	○			1	
復旦大学	中国	上海市	○	○	2		1	
北京大学軟件微電子学院	中国	北京市	○	○			1	
北京大學核物理研究所	中国	北京市	○	○	1		1	
FPT大学	ベトナム	ハノイ市	○	○			1	
ハノイ工科大学(HUT)	ベトナム	ハノイ市	○	○	1		1	
ベトナム国家大学 ハノイ国際外国语大学	ベトナム	ハノイ市	○	○			1	
郵政電信工藝学院	ベトナム	ハノイ市	○	○	↑		1	
ウエストバージニア大学	米国	ウェストバージニア州モーガンタウン	○	○	11	1	2	
サウスカロライナ大学	米国	サウスカロライナ州コロニビア	○	○		2	2	
マーサー大学	米国	ジョージア州メイコン	○	○			2	
ローズハルマン工科大学	米国	インディアナ州テレホート	○	○	8	12	2	
ローマ大学サピエンツア	イタリア	ローマ	○	○		2	5	
ウメオ大学	スウェーデン	ウメオ	○	○	1		5	
デュッセルドルフ専門大学(FH-D)	ドイツ	デュッセルドルフ	○	○			5	
ミュンヘン工科大学	ドイツ	ミュンヘン	○	○			5	
ローヌ工科大学/ナンシー校	フランス	ムルト=エ=モゼルナントシ	○	○			5	
グダニスク工科大学	ポーランド	グダニスク	○	○			5	
ポーランド日本情報工科大学	ポーランド	ワルシャワ	○	○			5	
ティミソアラ工科大学	ルーマニア	ティミソアラ	○	○			5	
サンクトペテルブルク工科大学	ロシア	サンクトペテルブルク	○	○			5	
サンクトペテルブルク情報技術・機械・光学大学	ロシア	サンクトペテルブルク	○	○	1		5	
サンクトペテルブルク電気工科大学	ロシア	サンクトペテルブルク	○	○			5	
サンクトペテルブルク大学	ロシア	サンクトペテルブルク	○	○	3	4	5	

大学名	交流協定締結校	国名	所在地	学術交流 協定締結	学生交流 協定締結	留学生 受け入れ数	学生 派遣数	地域
会津大学	ノボシビルスク国立工科大学	ロシア	ノボシビルスク	○	○			5
	ノボシビルスク国立大学	ロシア	ノボシビルスク	○	○			5
	モスクワ工科大学	ロシア	モスクワ	○	○			5
	モスクワ物理工科大学	ロシア	モスクワ	○	○			5
奥羽大学	慶熙大学	韓国	ソウル市	○				1
	ロマリンダ大学	アメリカ	カリフォルニア	○				2
日本大学工学部	テキサス大学オースチン校工学部	アメリカ	テキサス	○	○			2
	ルーヴァン・カソリック大学工学部	ベルギー	ルーヴァン・ラ・ヌーヴ	○	○			5
	ウメヲ大学理工学部	スウェーデン	ウメヲ	○	○			5
東日本国際大学	和春技術学院	台湾	高雄県	○	○			1
	キンボ浦大がく	韓国	京畿道	○	○			1
	セ世京大がく	韓国	江原道	○	○			1
	ソン成均館大學校	韓国	ソウル	○	○			1
	かい開南大學	台湾	桃園県	○	○			1
	あん安徽大學	中国	安徽省合肥市	○	○	5		1
	きょく曲阜師範学校	中国	山東省曲阜市	○	○			1
	きょく曲阜師範大學	中国	山東省曲阜市	○	○			1
	こう孔教學院	中国	香港九龍	○	○			1
	せい政法大學	中国	北京	○	○			1
	たい大连民族学院	中国	遼寧省大連市	○	○	1	1	1
	ぶじゅんしはんこうとうせんかがっこう	中国	遼寧省撫順市	○	○			1
	じんようたいいくがくいん	中国	遼寧省瀋陽市	○	○			1
	カリフルニア州立大学	アメリカ	カリフルニア州サンルイスオビスポ	○	○			2
福島大学	北京師範大學	中国	北京市	○				1
	かんこくがいごこどたいがっこう	韓国	ソウル市	○	○	2	2	1
	ペクソクたいがっこう	韓国	天安市	○	○	2		1
	ごりつたいへいだいがく	台湾	台北市	○				1
	か河北大學	中国	保定市	○	○	2	2	1
	かとうしはんたいがく	中国	上海市	○	○	2		1
	ちゅうなんざいけいせいほうたいがく	中国	武漢市	○				1
	ベトナム国家大学	ベトナム	ハノイ市	○				1
	ハノイ自然科学院	ベトナム	ハノイ市	○				1
	ベトナム国家大学 ハノイ人文社会科学院	ベトナム	ハノイ市	○				1
	ウイスコンシン大学オークレア校	アメリカ合衆国	オークレア市	○				2
	ミドルテネシー州立大学	アメリカ合衆国	マーフリースボロー市	○				2
	ビクトリア大学	カナダ	ビクトリア市	○	○			2
	クィーンズランド大学	オーストラリア	ブリスベン	○	○			4
	スターリング大学	スコットランド連合王国	スターリング	○				5
福島工業高等学校専門学校	ルール大学ボーフム	ドイツ	ボーフム	○				5
	タマサート大学 Thammasat University	タイ	バンコク	○	○	4	1	1
	ミドルセックス大学 Middlesex University	英国	ロンドン	○	○			5

## アカデミア・コンソーシアムふくしま

事務局:福島大学大学連携センター  
住 所:〒960-1296 福島市金谷川1番地  
電 話:024-548-5295 FAX:024-548-5296  
発 行:平成22年3月